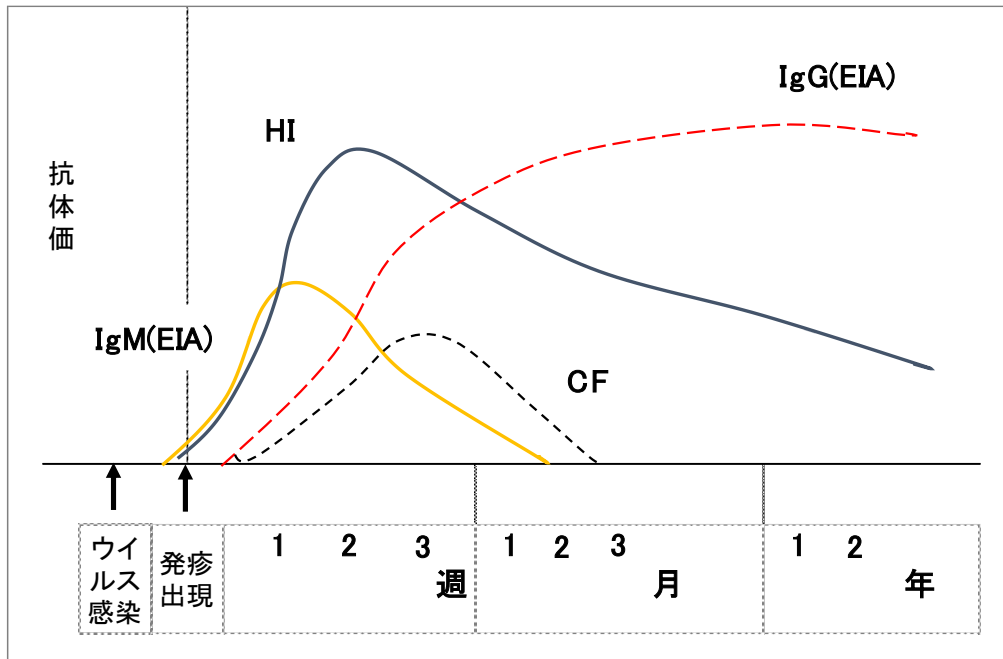


ウイルス抗体判定基準一覧

(ムンプス、風疹、麻疹、単純ヘルペス、水痘帯状ヘルペス、サイトメガロウイルス)

判定	IgG(EIA価)		IgM(抗体指数)
	血清	髄液	血清・髄液
(－)	2.0未満	0.2未満	0.80未満
(±)	2.0～3.9	0.2～0.3	0.80～1.20
(＋)	4.0以上	0.4以上	1.21以上

ウイルス抗体価の推移



グロブリンクラス別抗体価の意義

IgM	感染後、早期に出現し、短期間(2～3ヵ月)で消失。
IgG	感染後、IgMに遅れて出現。漸減しながら長期間持続。
IgA	IgMより多少遅れて出現し、IgMより長期持続。

ペア血清の意義

急性期(発病後早期)と回復期(発病後14～21日)のペア血清の抗体価が4倍以上上昇した場合に有意と判断し、そのウイルスの感染を推定します。

検査方法選択のめやす

ウイルス名	自然感染の判定	既往感染の判定	ワクチン効果の判定
E B	EBNA、EB-DR VCA-IgM(急性期) VCA-IgG	EBNA、EB-DR VCA-IgG	—
インフルエンザ	HI、CF	—	HI
サイメガロウイルス(CMV)	EIA (IgM・IgG)	EIA (IgG)	—
パルボB19	EIA (IgM・IgG)	EIA (IgG)	—
マイコプラズマ	PA(主にIgM) CF(主にIgG)	CF(主にIgG) PA(主にIgM)	—
ムンプスウイルス	EIA (IgM・IgG)、HI、NT	EIA (IgG)	EIA (IgG)
水痘帯状ヘルペス(VZV)	EIA (IgM・IgG)	EIA (IgG)	EIA (IgG)
単純ヘルペス(HSV)	EIA (IgM・IgG)、CF	EIA (IgG)	—
日本脳炎	HI、CF		HI
風疹	EIA (IgM・IgG)、HI	EIA (IgG)、HI	EIA (IgG)、HI
麻疹	EIA (IgM・IgG)、NT	EIA (IgG)、NT	EIA (IgG)、PA、NT

ワクチン接種の考え方

MMRV 抗体価と必要予防接種目数（予防接種の記録がない場合）

	検査方法	(単位)	あと2回の 予防接種が必要	あと1回の 予防接種が必要	今すぐの 予防接種は不要
麻疹ウイルス	EIA法 (IgG)		2.0 未満	2.0 以上 ~ 16.0 未満	16.0 以上
	中和法	倍	4 未満	4	8 以上
風疹ウイルス	HI法	倍	8 未満	8 以上 ~ 16	32 以上
	EIA法 (IgG)		2.0 未満	2.0 以上 ~ 8.0 未満	8.0 以上
水痘帯状ウイルス	EIA法 (IgG)		2.0 未満	2.0 以上 ~ 4.0 未満	4.0 以上
ムンプスウイルス	EIA法 (IgG)		2.0 未満	2.0 以上 ~ 4.0 未満	4.0 以上